

# 平成29年度 予算の概要

各会計総額  
前年比 5%減の **95億1,670万円**

平成29年度一般会計予算は65億6,500万円で、前年度に比べて5億6,100万円増額(9.3%)となりました。特別会計(国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業、簡易水道事業、公共下水道事業)の予算総額は、29億5,170万円で、前年度に比べて10億5,960万円減額(▲26.4%)。

平成29年度の一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、95億1,670万円で、前年度に比べて4億9,860万円減額(▲5.0%)しています。

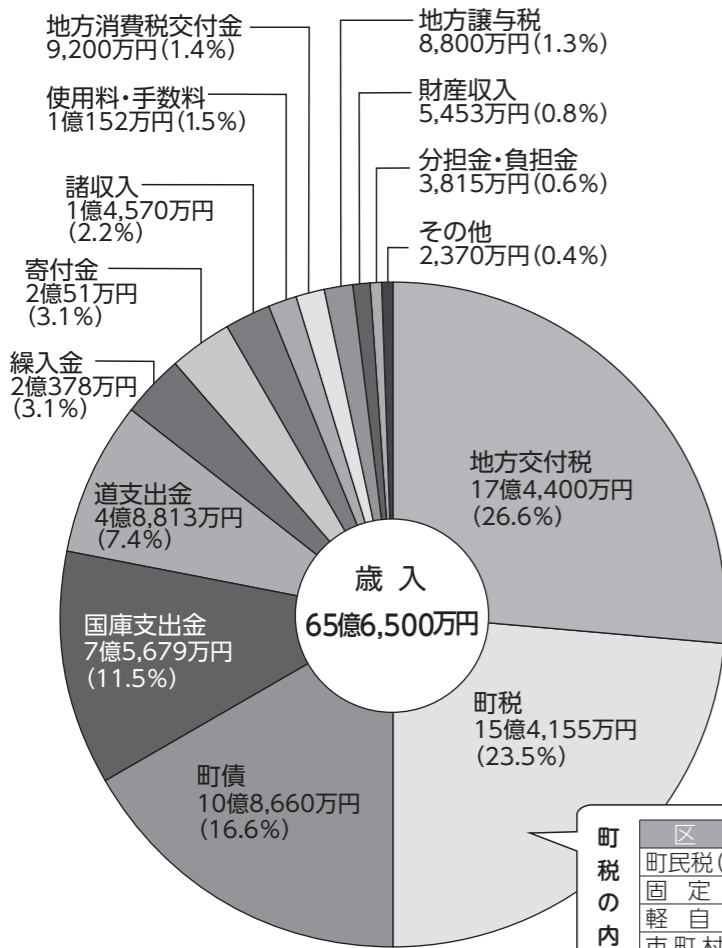
各会計予算総括表

会計名	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増減額	増減率
一般会計	65億6,500万円	60億400万円	5億6,100万円	9.3%
特別会計				
国民健康保険事業	7億1,970万円	7億6,700万円	▲4,730万円	▲6.2%
後期高齢者医療	8,500万円	7,210万円	1,290万円	17.9%
介護保険事業				
保険事業勘定	5億640万円	4億7,230万円	3,410万円	7.2%
介護サービス事業勘定	1,740万円	1,940万円	▲200万円	▲10.3%
簡易水道事業	14億2,000万円	24億6,300万円	▲10億4,300万円	▲42.3%
公共下水道事業	2億320万円	2億1,750万円	▲1,430万円	▲6.6%
計	29億5,170万円	40億1,130万円	▲10億5,960万円	▲26.4%
合計	95億1,670万円	100億1,530万円	▲4億9,860万円	▲5.0%

## 一般会計予算の歳入・歳出内訳

構成比は、小数点第1位未満を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

### 歳入



#### チェックポイント

歳入は、前年度と比較してみると、町税は0.7%、1,047万円の減少となっており、固定資産税は、償却資産の減価償却による税収の減少や景気後退の懸念などから、市町村民税の減収により減少状況となっています。

また、国庫支出金は、子育て支援住宅建設事業や高齢者共同福祉住宅建設事業に対する補助金などを含め36.6%、2億296万円の増加となっています。道支出金は、担い手研修農場整備事業、農業基盤整備促進事業補助金で12.7%、7,130万円の減少となっています。寄付金は、ふるさと納税寄付を含め33.7%、約5,000万円の増加となっています。

#### 用語の説明

**町税** 町内の住民や企業などから集められるもの。町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税。

**地方交付税** 地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを提供できるよう財源を保障するもの。

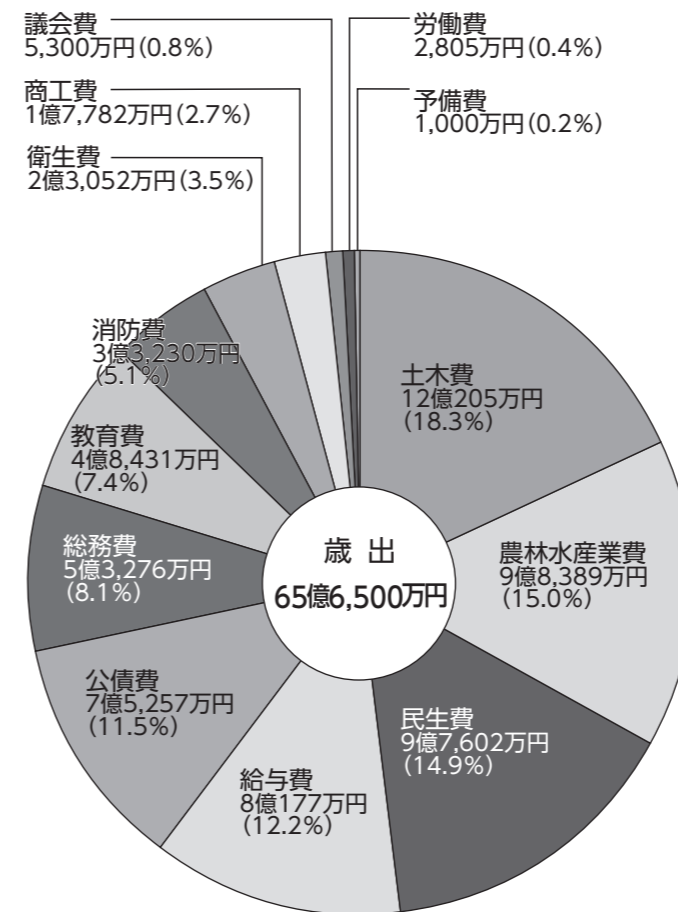
**国庫・道支出金** 特定の行政目的を達成するために、国や道から町に交付されるもの。

**町債(地方債)** 自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの。いわば家計における借入に相当するもの。

区分	金額	町民1人あたり
町民税(個人・法人)	2億4,838万円	5万3,312円
固定資産税	12億4,884万円	26万8,049円
軽自動車税	1,457万円	3,127円
市町村たばこ税	2,974万円	6,385円
計	15億4,153万円	33万873円

※平成29年3月末現在の人口4,659人で算出

### 歳出



#### 〇チェックポイント

歳出では、民生費でいきいきサポートサロン整備事業などにより19.6%、1億5,983万円の増加、農林水産業費で青果物集出荷貯蔵施設整備事業などにより73.9%、4億1,804万円の増加となっています。

#### 用語の説明

- 議会費** 議員の報酬、手当などにかかるお金
- 総務費** 町の一般的な事務、まちづくりなどにかかるお金
- 民生費** 福祉の充実などにかかるお金
- 衛生費** 医療の充実・ごみ処理などにかかるお金
- 労働費** 労働者福祉事業などにかかるお金
- 農林水産業費** 産業振興などにかかるお金
- 商工費** 商工振興などにかかるお金
- 土木費** 道路、河川の整備などにかかるお金
- 消防費** 消防、災害対策などにかかるお金
- 教育費** 学校教育・生涯学習の推進などにかかるお金
- 公債費** 借入金の返済などにかかるお金
- 給与費** 職員の給料、手当などにかかるお金
- 予備費** 予備のお金